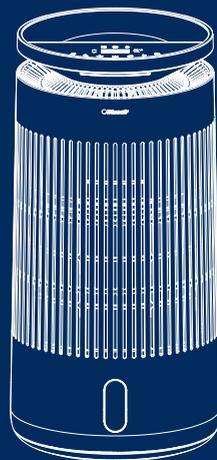


取扱 説明書

Air Purifier + Humidifier
2-in-1 Pro 加湿空気清浄機

DH5i



目次

ご使用の前に、本書を必ずよくお読みください。
本書は紛失しないよう、大切に保管してください。
本書の最新版データは、www.blueair.jp に掲載されています。
尚、意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更する場合があります。

目次

安全上のご注意	3
本商品について	7
各部名称	8
初めて使うとき	9
給水する	10
DermaSense™ スキンモード	11
操作パネルの使い方	12
空気質の表示	15
メンテナンスの注意点	16
お手入れする	17
本体を移動する	22
困ったときは	23
主な仕様	25
本体の廃棄、アフターサービス、保証について	26

安全上のご注意

本商品は屋内使用専用です。安全を十分に考慮して設計されておりますが、一般に電気製品は取り扱いを誤ると大きな事故につながる可能性があります。次の注意事項をお守りになり、安全にご使用ください。



警告

次の警告事項を必ずお守りください。警告を守らずに使用した場合、火災や感電などにより使用者の死亡や大けがを伴う事故につながる可能性があります。



指示

この行為を必ず実行してください。

煙が出る、変な臭いがあるなどの異常、および部品の破損、故障時には、ただちに使用を中止する、明らかに損傷している場合、稼働させない

そのまま使い続けると、発火や感電の原因になるおそれがあります。異常を感じた場合は、すぐに運転を停止し電源プラグを電源コンセントから抜き、「ブルーエアサービスセンター」へご連絡ください。

電源プラグを電源コンセントに差し込むときは、まっすぐに突き当たるまで差し込む

電源プラグが外れかけたまま使用すると、感電や火災の原因になります。

交流100Vで使用する

本商品は日本国内専用です。交流100V以外で使用すると、火災の原因になります。

電源プラグと電源コンセントの接続部分は、ホコリなどを定期的に除去する

電源プラグにホコリがたまると、湿気などによる絶縁不良が起こり、感電や火災の原因になります。

電源コンセントから電源プラグを抜くときはコードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜く

コードを引っ張ると、コードの中の電線が切れ、ショートによる感電や火災の原因になります。

水分がかからない場所に設置し、周囲が乾いていることを確認してから電源プラグを差し込む

火災や感電の原因になる場合があります。また、バットの尿やケトルからの水蒸気などがかからないようご注意ください。

子どもが本商品で遊ばないように注意する
けがや故障、事故の原因になります。



プラグをコンセントから抜く

長い間使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いておく

電源プラグにホコリがたまると、湿気などによる絶縁不良が起こり、感電や火災の原因になります。



プラグをコンセントから抜く

フィルター交換やお手入れ、点検、本体の移動時には必ず、運転を停止し電源プラグを抜き、ファンが停止していることを確認する
タンクに直接水を入れる場合、給水の前に運転を停止し電源プラグを抜き、ファンが停止していることを確認後、本体から完全に取出してからおこなう

水が漏れて家財を濡らしたり、故障、破損、感電やけが、漏電の原因になります。



禁止

この行為は禁止されています。

電源プラグが電源コンセントの形状に合わない場合、電源プラグを変形させて無理矢理差し込まない
感電や故障の原因になります。

付属の電源コード以外を使用しない
火災や感電、故障の原因になります。

運転中に電源コンセントから電源プラグを抜かない
火災や感電の原因になります。

電源コードや電源プラグを熱器具に近づけない
火災や感電の原因になります。

付属の電源コードを本商品以外に使用しない
火災や感電、故障の原因になります。

安全上のご注意



この行為は禁止されています。

禁止

子どもや身体、感覚または思考能力が低下していたり、経験や知識が不足している方は、保護責任者から指示、監督されない環境において使用したり、お手入れしないけがや事故の原因になります。

電源コードや電源プラグに負荷をかけない（加工する、傷つける、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、束ねる、挟む、ペットがかかるなど）

電源コードや電源プラグに負荷がかかることによる感電や火災、ショートの原因になります。

電源タップや延長コードを使った「たこ足配線」で、定格を超えた接続をしない

電源コードや電源プラグの負荷が大きくなり、感電や火災の原因になります。

電源コードが破損した場合は、そのまま放置したり自分で修理したりしない

破損した状態のまま使用し続けると、感電や火災、ショートの原因になります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、「ブルーエアサービスセンター」へご連絡ください。

吸込口・吹出口や本体のすき間に指や金属物などの異物を入れない

感電やけが、故障の原因になります。

次のような可燃性の高いものを本体や電源プラグに近づけない

- ・ヘアスプレーや殺虫剤、消臭剤など
 - ・火のついたタバコや線香など
 - ・ベンジンやシンナーなど
- 引火や感電の原因になります。

腐食性物質や有機溶剤（例：ベンジン、シンナー、アルコール、ガソリンなど）を使ってお手入れしない

故障の原因になります。

電源がオンのまま横転させたり水を捨てたりしない
水が漏れて家財を濡らしたり、故障、破損、感電やけが、漏電の原因になります。

電源コードをカーペット、家具、電化製品の下に通したり、敷物で覆ったりしない

火災や故障のおそれがあります。

コードは通路に近づけない

転倒したり、水が漏れて家財を濡らしたり、故障、破損、感電やけが、漏電の原因になります。

UVCライトを本体の外で動作させたり本商品以外で使用しない
本体やUVC搭載ユニットが破損した場合には使用しない

ポンプユニットには除菌を目的とした深紫外線（UVC）ライトを搭載しています。ポンプユニットに損傷がある場合、UVCが漏れる可能性があります。UVCはわずかな量であっても、目や皮膚に害を及ぼす可能性があります。

UVCライトに触ったり、取り出したり分解・交換したりしない
けがや故障の原因になります

運転中に本体内部をのぞきこまない

UVCを直接見ると、UVCが目や皮膚に害を及ぼすおそれがあります。



分解禁止

自分で本商品を分解や改造、修理しない

商品内部には電圧の高い部分があります。感電や火災の原因になりますので、分解や改造、修理をしないでください。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグをさわらない

濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因になります。



水濡れ禁止

本体に水をかけない、本体を濡らさない

故障、破損、感電やけが、漏電の原因になります。



可燃物禁止

油や可燃性ガスなどを使用する場所、漏れるおそれのある場所に設置しない

引火や、ガス吸引による発火や発煙の原因になります。

安全上のご注意



注意

次の注意事項を必ずお守りください。注意を守らずに使用した場合、使用者のけがや周囲の物品損害を伴う事故につながる可能性があります。



指示

この行為を必ず実行してください。

壁などから10cm以上離して設置する

空気の流れが悪くなり、発熱や発火の原因になります。

安定した水平な床面に設置する

本商品は床置き専用です。壁にかけたり、棚に置いたりできません。万一、本商品が転倒すると、けがや家財破損の原因になります。

燃焼器具と一緒に使う場合は必ず換気する

本商品は換気が出来ません。そのため燃焼器具から発生する一酸化炭素による中毒の原因になります。

フィルター交換お知らせランプが点灯したら、フィルターを交換する

加湿集じん効果が得られないばかりか、故障の原因になります。

ブルーエア純正の付属品、フィルターを使用する

火災や設置不良による感電、けがなどの事故、故障の原因になります。純正品以外の付属品やフィルターを使用して生じた故障は保証の対象外です。

注ぎ口から給水する場合は給水前に電源を入れ、スタンバイモード」か「スピード0」の設定でおこなう

「ほぼ満水」を警告する給水サインが点かず最大給水量以上給水し、本体が故障するおそれがあります。

注ぎ口から給水する際は、ディスプレイの給水サインが点滅したらそれ以上注がない。または、最大給水ラインに水が達したら、それ以上注がない。

過剰な給水は水漏れや故障の原因となります。

タンクは中性洗剤を使って洗う

研磨剤を含む洗剤やスポンジ、酸素系・塩素系漂白成分を含む洗剤を使用すると変色や劣化、傷や破損の原因になります。

本書のお手入れ方法に従い、定期的にお手入れする加湿清浄効果が低下します。

フィルター・タンクは正しく取り付けて運転させる

加湿清浄効果が得られなかったり故障の原因になります。

凍結の恐れがあるときはタンク内の水を捨てる

水が凍結した状態で稼働させると故障の原因になります。

加湿機能を使用しないときは、タンク内の水を捨て乾燥させて保管する

汚れや水垢により、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。稀に体質によっては過敏に反応し、健康を害することがあります。この場合は医師にご相談ください。

本体を移動させるときはタンク内の水を捨てる

水が漏れて家財などを濡らしたり、感電や漏電の原因になります。

タンクを取り外して給水した後はタンクの水分をきれいに拭き取る

感電や故障の原因になります。

タンクの水や本体内部、ポンプユニットを常に清潔にする タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替える

お手入れせずに水垢や汚れ、白い塊が残ったまま使用すると、水漏れ、カビや雑菌が繁殖して悪臭の原因、稀に健康を害する原因になります。体調に異常があったときは医師にご相談ください。タンク、ポンプユニット、本体は定期的にお手入れしてください。

使用中は、窓や扉を閉めて使用する

加湿清浄効果が得られないおそれがあります。

加湿フィルターを洗濯機で洗うときは洗濯ネットに

入れ、40°未満の水温で中性洗剤を使ってドライコースやデリケートコースで洗う

破損し加湿効果が得られないおそれがあります。

安全上のご注意



この行為は禁止されています。

禁止

上に乗ったり、寄りかかったり、横倒ししたり、上に物をのせたりぶら下がったりしない

転倒によるけがや故障の原因になります。

フィルターを60°以上の乾燥機にかけたり、アイロン掛けしたり、漂白剤・柔軟剤・強い薬剤を使用しない
破損や変色のおそれがあります。

タンク以外を食洗機に入れない

破損や傷、故障、変形するおそれがあります。

浴室など高温多湿、水のかかる場所に設置しない
火災や感電の原因になる場合があります。

動植物に直接風が当たる場所に設置しない

動植物に長時間風があたり、乾燥する原因になります。

カーテンや物で吸込口や吹出口を塞がない

発熱や発火の原因になります。

発煙または霧タイプの殺虫剤使用時には運転しない

本体内部に蓄積した薬剤成分が、再運転後に吹出口から放出され、健康を害する場合があります。殺虫剤の使用後は十分に換気をおこなってからご使用ください。

フィルターを取り外した状態で稼働させない

加湿清浄効果が得られない他故障の原因になります。

ダストフィルターは水洗いしない

集じん効果が低下します。

加湿フィルター以外のパーツを洗濯機で洗わない

故障や変形するおそれがあります。

直射日光が当たる場所で使用しない

変色の原因になります。

フィルターを外したり、プラスチックの包装がついた状態のまま運転しない

効果が得られないばかりか、故障の原因になります。

ストーブやガスコンロなどの熱源のそばで使用しない

熱で破損したり、変色するおそれがあります。

吹出口から出る風を故意に吸引しない

健康を害するおそれがあります。

タンクの水を飲料用に使用しない。また、動植物にも与えない
体調不良や悪影響を及ぼすおそれがあります。

タンクを外したまま運転しない、稼働中にタンクを外さない、
水がない状態で加湿機能を稼働させない、最大給水ラインを
越えてタンクに水を入れない

水漏れによる感電やけが、故障の原因になります。

美術品や学術資料の保存など、特殊用途には使用しない

保存品の品質低下の原因になります。

美術品、電子機器（テレビ、パソコン、ピアノ、特殊な塗装家具など）の近くで使用しない

湿気を含んだ風や転倒による水漏れで美術品や機器が破損・故障することがあります。

加湿しすぎない

室内の結露やカビが発生する原因になります。

水道水以外をタンクに入れない

40°以上の温水、汚れた水、アロマオイル、次亜塩素酸などの化学薬品、芳香剤や洗剤を入れた水、浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水など。本体の変形や故障の原因になります。また、加湿フィルターが目詰まりしたり、カビや雑菌が繁殖する原因になります。

タンク以外のパーツを食器洗い機に入れない

故障するおそれがあります。

電波に関するご注意

本商品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。以下の機器や無線局は、本商品と同じ2.4GHz周波数帯の電波を利用しています。これらの近くで本商品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。

- ・ 産業・科学・医療機器（電子レンジ、無線LAN機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど）
 - ・ 免許を要しない無線局（特定小電力無線局）
 - ・ 免許を要する無線局（工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局）
- 以下の機器や無線局の近くで本商品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- ・ 心臓ペースメーカーなどの医療機器に影響が及んだ場合、速やかに本商品の電源をお切りください。
 - ・ 特定小電力無線局、機内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、ブルーエアーサービスセンターにお問い合わせください。

本商品について

本製品は、加湿機能を備えた多機能型の空気清浄機です。HEPASilent®テクノロジーにより微粒子を効果的に除去し、加湿と組み合わせて快適な室内環境づくりをサポートする加湿空気清浄機です。

DermaSense™（ダーマセンス）スキンモードは、室温や時間帯に応じて湿度を自動調整し、肌に優しい空気環境を整えるモードです。

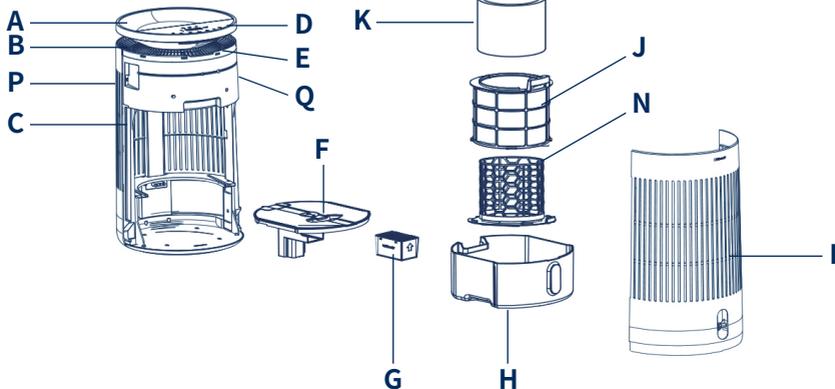
本商品には、操作パネルとセンサー機能を備えており、本体のディスプレイでは、センサーでとらえた空気質（微粒子PM2.5）と室内の湿度を表示します。本体の設定は、本体天面の操作パネルまたはBlueairアプリから、いつでも変更することができます。Blueairアプリを使用すると、本体ではできない細かな設定もできるようになります。

加湿空気清浄性能を最大限に発揮するためには

- ・推奨フロア面積を目安とした広さの空間でご使用ください。
- ・本体周辺に空気が循環できるスペースを空けてご使用ください。
- ・本体の周辺10cm以内には物を置かないでください。
- ・部屋の窓やドアを閉めた状態でご使用ください。
- ・Blueair 純正のダストフィルター、加湿フィルター、付属品をご使用ください。
- ・ディスプレイにフィルター交換お知らせランプが点灯したら、フィルターを交換してください。
- ・その他本書「お手入れする」の記載内容に従って定期的にお手入れをしてください。

各部名称

- A. 注ぎ口
- B. 吹出口
- C. 吸込口(背面パネル)
- D. 操作パネル
- E. 空気環境ステータスランプ
- F. ポンプユニット
- G. ウォーターリフレッシュャー
- H. タンク
- I. 吸込口(前面パネル)
- J. プレフィルター
- K. ダストフィルター
- L. 加湿フィルターインナーフレーム
- M. 加湿フィルター
- N. ダストフィルターインナーフレーム
- O. 加湿フィルターカバー
- P. 空気質(PM)センサー
- Q. 温湿度センサー



初めて使うとき

手順1

電源プラグをコンセントにしっかりと奥まで差し込みます。

手順2

本体のオン/スタンバイボタンをタップし、本体の電源を入れます。

手順3

タンクに水を入れます。

*詳細は、P10「給水する」をご参照ください。

Blueair アプリに接続する

Blueair アプリに接続すると、離れた場所から本体を操作したり、ダスト/加湿フィルターの寿命やタンク内の水の残量を確認することができます。Blueair アプリを使用すると、本体の操作パネルではできない細かな設定もできるようになります。



手順1 App Store または Google Play から Blueair アプリをダウンロードします。

手順2 アプリを開きます。Blueair アカウントを作成するか、サインインします。

手順3 「本体を接続する」をクリックし、「Air Purifier+Humidifier 2-in-1 Pro (加湿空気清浄機)」を選択します。指示に従ってアプリのペアリングを完了します。

初めて接続するときのヒント

本体は必ずオンにしてください。オートモードボタンを約5秒間長押しし、本体とのペアリングを準備します。本体のWi-Fiインジケータが点滅すると、アプリとペアリングする準備ができたサインです。



初回ペアリング時にはBluetoothが必要です。スマートフォンやタブレットのBluetoothをオンし、ペアリングのためにスマートフォンを本体から1メートル以内の距離に保ちます。



初回ペアリング時には、本体をWi-Fiルーターから4.5メートル以内に設置してください。



Blueair アプリを使用する際は、Wi-Fiネットワークが他のデバイスからも見えるようになっていかなければなりません。また、VPNはオフにしてください。



本加湿空気清浄機は2.4GHz Wi-Fiのみに接続できます。デュアルバンド Wi-Fiルーターを使用している場合は、必ず2.4GHzを選択してください。



Wi-Fi接続の手順は、アプリのバージョンアップデートにより一部変更される場合があります。内容に相違がある場合、最新版アプリが示す手順に従って登録してください。

Wi-Fi接続について、詳細やご不明な点は、Blueair アプリまたは www.blueair.jp よりご確認ください。

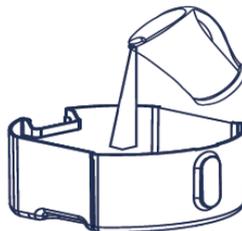
給水する

タンクへの給水方法

タンクへの給水方法は、以下の2通りがあります。



注意：加湿機能を正常に稼働させるために、タンクは週1回掃除してください。
タンクの水は毎日交換し、タンクのお手入れは「お手入れする」を参照の上行ってください。
給水時は必ず本体をスタンバイモードにし、ファンが作動していないことを確認してください。



1: 天面から給水する(推奨)

天面から給水する前に、本体がスタンバイモードになっているか、または「運転スピード0」に設定されていることを確認してください。注ぎ口に、水をゆっくりと注いでください。

注意：オレンジ色の給水ランプ  が点滅したら給水を停止してください。

注意：タンク窓の上端を超えて水を入れしないでください。

2: タンクに給水する

安全のため、スタンバイモードにした後電源プラグを抜いてから行ってください。前面パネルを外し、タンクを引き出して、ポンプユニットを外して直接タンクに給水してください。

注意：最大給水ラインを超えて水を入れしないでください。

DermaSense™ スキンモード



DermaSense™ モードは、就寝時の快適性に配慮し、室温や時間帯に応じて加湿量を自動調整。

一般的に快適とされる湿度40～60%を目安に、急な湿度変動を起こりにくくする制御で、乾燥や過加湿による不快感が生じにくい空気環境づくりをサポートします。

8段階の自動制御により、夜間もなめらかな湿度変化になるよう配慮しています。

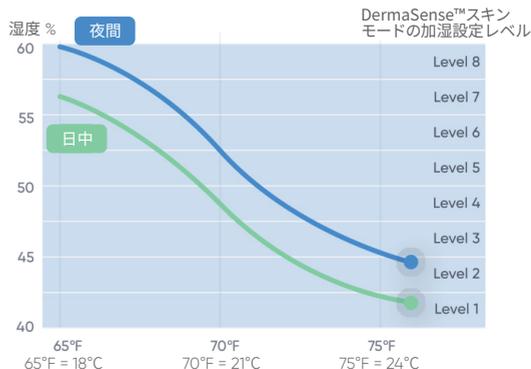
アルゴリズム制御:室内温度と時刻に基づく独自アルゴリズムで、加湿量を自動調整。

ナイト対応:就寝時(肌の水分が失われやすい時間帯)は、加湿量をやや高めに自動設定。

自動でうるおい管理:DermaSense™ スキンモードをオンにすると、40～60%の範囲で8段階の加湿目標を自動で調整し、1日を通じた湿度変化に配慮(右グラフ参照)。

ワンタップ操作:ボタンひとつで DermaSense™ スキンモードが作動。風量と加湿を自動で最適化し、推測や面倒な切り替えは不要。

アプリ連携:Blueairアプリに接続すると、現地の昼夜サイクルに同期し、1日を通してバランスの取れた湿度環境づくりをサポート。



*グラフの華氏から摂氏への換算値は最も近い整数値。

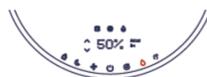
操作パネルの使い方

	電源	オン/スタンバイを切り替えます。 約15秒長押しで工場出荷状態にリセットされます。
	加湿モード	加湿機能のオン/スタンバイを切り替えます。 点滅時に上下のボタンで湿度(30%~60%)を設定。 約3秒で確定します。5%単位での設定が可能です。 設定しない場合は自動的に50%に設定されます。 加湿器をオフにするには、ボタンを2回タップしてください。
	運転スピード	1~4段階で調整可能。
	オートモード	PM2.5レベルに応じて運転スピードを自動調整。
	ナイトモード	運転スピードが最低速度まで落ち、 操作パネルの明るさが薄暗く点灯します。
	チャイルドロック	チャイルドロックボタンを約2秒間長押しすることで、 オン/オフを切り替えます。ロックが有効になると、電 源以外のボタンの操作ができなくなります。ロックが 有効な状態で他のボタンに触れると、ディスプレイが 点滅してロック中であることを知らせます。

操作パネルの使い方



-  **運転スピード**
運転スピードを調整すると、
選択したスピード(1・2・3・4)
がディスプレイに表示されます。



-  **加湿モード**
初期設定は50%。
上下ボタンで調整し、約3秒
で確定。設定後は室内湿度
の表示に戻ります。



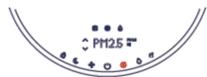
-  **ナイトモード**
月のアイコンが表示され、ライ
トが暗くなり、運転スピードが
最低速度に切り替わります。



-  **給水ランプ**
 **赤色**
タンクの水が少なくなって
います。給水してください。



-  **給水ランプ**
ディスプレイに水滴のアイコ
ンが表示され、リアルタイムで
タンク内の水の量が確認でき
ます。



-  **オートモード**
現在のPM2.5の空気質レベル
を表示。上下ボタンで現在の
室内湿度に切替えることが
可能です。

-  **オレンジ色**
タンクがほぼ満水です。水を
入れすぎないように注意く
ださい。

操作パネルの使い方



**加湿フィルター交換
お知らせランプ**
加湿フィルターの交換時期(最大約12カ月*)になると、加湿フィルター交換お知らせランプが赤く点灯します。加湿フィルターは洗って再利用できます。交換後は約5秒間長押しするか、Blueairアプリでリセットしてください。

*1日10時間使用の場合の目安。



**ダストフィルター交換
お知らせランプ**
ダストフィルターの交換時期(最大約12カ月*)になると、ダストフィルター交換お知らせランプが赤く点灯します。最大約12カ月ごとの交換をお勧めします。交換後は約5秒間長押しするか、Blueairアプリでリセットしてください。

*1日24時間使用の場合の目安。



**ウォーターリフレッシャー
交換お知らせランプ**
交換時期(約3~6カ月*)になると給水ランプが青色に表示されます。交換後約5秒間長押ししてリセットしてください。

ウォーターリフレッシャーは水を新鮮に保ち、ミネラルの蓄積を防ぎ、お手入れも楽に。

*1日5L使用の場合の目安。



オートドライモード
Blueairアプリで操作が可能です。オートドライモード機能は加湿フィルターに微風を送ることで、加湿フィルターを清潔な環境に保ちます。タンクが空になると自動的にオートドライモードに切り替わります(初期設定は標準スピード)。Blueairアプリを使うと、いつでもオートドライを手動で作動させることができます。標準スピード：低消費電力で約2時間乾燥
高速スピード：約30分で高速乾燥

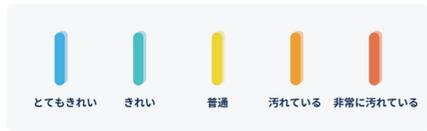


ムードライト
ライトは3段階の明るさに調整できます。設定はBlueairアプリからのみ行えます。ディスプレイにライトアイコンが表示され、3段階に切り替わります。

空気質の表示

本商品には、お部屋の微粒子(PM1、PM2.5、PM10)を測定するセンサーが搭載されています。空気環境ステータスランプでは、お部屋の空気の状態を青色の「とてもきれい」から赤色の「非常に汚れている」までの5色で表示します。

空気環境ステータスランプ



メンテナンスの注意点

お手入れする

本商品の加湿機能を最高の状態に保つためには、定期的なお手入れが欠かせません。

お手入れの際は、以下の推奨事項に従ってください。

お手入れする際の注意

重要:お手入れをする前には必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・感電やけが、故障の原因になりますので、吸込口や吹出口など本体のすき間に異物を入れないでください。
- ・故障の原因になりますので、腐食性物質や有機溶剤(例:ベンジン、シンナー、アルコール、ガソリンなど)や研磨剤、漂白剤(酸素系・塩素系)を使用してお手入れしないでください。
- ・濡れた布でお手入れをした場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、本体がきちんと乾いていることをご確認ください。
- ・ダストフィルターは水洗いをしないでください。水洗いをすると使用することができなくなります。

お手入れ方法

	パーツ	頻度	お手入れ方法・備考
お手入れ パーツ	タンク	週1回	中性洗剤を使って洗う(食洗機対応)。洗浄後はタンクをよく拭き取り、完全に乾燥させてから再度組み立てる。 水は毎日交換。
	プレフィルター	月1回	掃除機または柔らかいブラシでホコリを取り除く。
	加湿フィルター	1~2週間に1回	家庭用中性洗剤のみ使用可。洗濯機で洗う場合は洗濯ネットに入れ、市販の洗剤を使用する。 デリケートコース(水温40℃以下)で洗う。 洗浄後は日陰干し。乾燥機を使う場合は低温設定(60℃以下)。 漂白剤、柔軟剤、強い化学薬品は使用不可。アイロンがけ不可。
	ポンプユニット	汚れが気になるとき	水分を含ませて固く絞った柔らかく清潔な布で汚れを拭き取る。 注意:電極がついているため、水洗い不可。
	加湿フィルターカバー、 インナーフレーム	汚れが気になるとき	水ですすぎ洗い。
交換 パーツ	ダストフィルター	最大約12カ月ごとに交換	1日24時間使用時の目安。水洗い不可
	加湿フィルター	最大約12カ月ごとに交換	1日10時間使用時の目安。
	ウォーターリフレッシャー	約3~6カ月ごとに交換	1日5L使用時の目安。

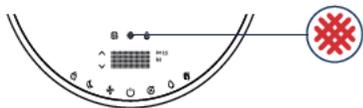
その他のお手入れ

- ・本体(注ぎ口、操作パネル、吹出口、前面パネル含む)は、水分を含ませて固く絞った柔らかく清潔な布で拭いてください。
 - ・吸込口はブラシ付き掃除機で清掃してください。
 - ・電源コードやプラグは、摩耗や破損していないことを確認してください。
 - ・ダストフィルターを交換する際は、センサー部分を綿棒で優しく汚れを拭き取ってください。
- ※各種フィルターの交換やお手入れ方法の詳細は、次ページをご参照ください。

お手入れする

ダストフィルターの交換方法

重要：お手入れをする前には必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

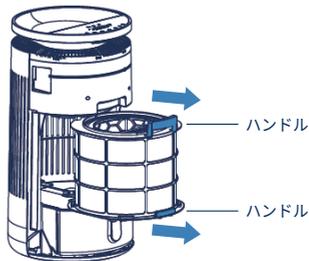


ダストフィルター交換
お知らせランプ

本商品はREALTRACK®テクノロジーを使用し、ご使用状況とセンサーで感知した数値に基づき、ダストフィルターの使用残を計算します。フィルター交換の時期になると、ディスプレイのダストフィルター交換お知らせランプが赤色に点灯しお知らせします。ご使用の環境により異なりますが、最大約12カ月ごとの交換*をお勧めします。



手順1 吹出口から手を入れ、
前面パネルを開けます。

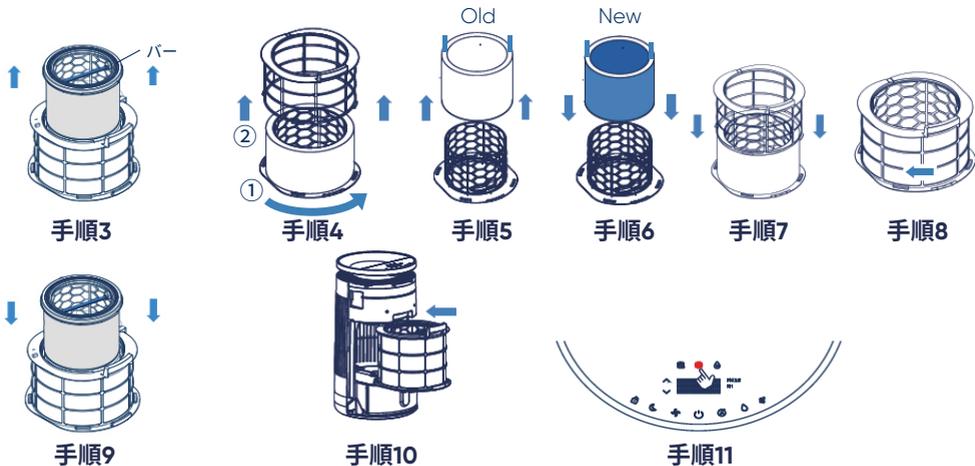


手順2 フィルター一式を上下のハンドルを同時に
引きながら取り出します。

*1日24時間使用の場合の目安。

お手入れする

ダストフィルターの交換方法



手順3 加湿フィルターの真ん中にあるバーを引っ張り、加湿フィルター一式を取り出します。

手順4 プレフィルターを反時計回りに回転させてロックを解除し、上方向に取り外します。

手順5 上部両端にあるダストフィルターのタブを引っ張り、使い終わったダストフィルターを上方向に取り外します。※フィルターフレームは捨てないでください。

手順6 新しいダストフィルターを袋から取り出し、タブが上方向になるようにインナーフレームに取り付けます。

手順7 プレフィルターを取り付けます。このとき、ハンドルが下部の突起と一致するように合わせてください。

手順8 プレフィルターを時計回りに回してロックします。

手順9 加湿フィルター一式を元通りにセットします。

手順10 フィルター一式を元通りにセットします。

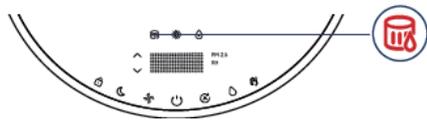
手順11 ダストフィルター交換お知らせランプを約5秒間長押しするか、Blueairアプリでフィルター使用残をリセットします。

※フィルター一式をスライドさせるときには、ゆっくりと引き出してください。

お手入れする

加湿フィルターの交換方法

重要：お手入れをする前には必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



加湿フィルター交換
お知らせランプ

加湿フィルターは洗濯機で洗うことができます。洗濯ネットに入れ、40°未満の水温で中性洗剤を使ってドライコースやデリケートコースで洗ってください。

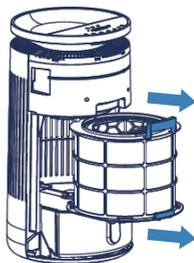
1～2週間ごとにお手入れすることをお勧めします。

定期的にお手入れをしても、最大約12カ月ごとに交換*してください。

加湿フィルター交換お知らせランプが赤く点灯したら交換時期です。



手順1 吹出口から手を入れ、
前面パネルを開けます。

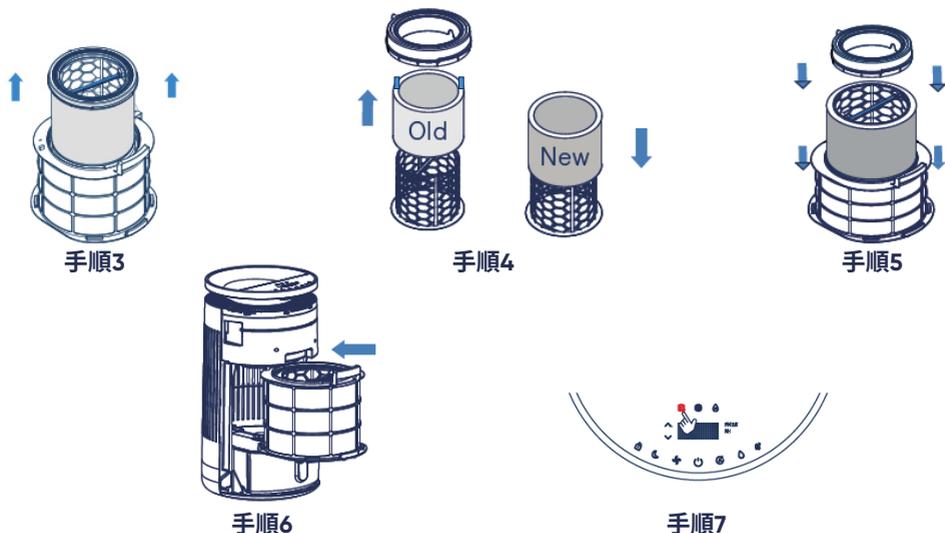


手順2 フィルター一式を上下のハンドルを
同時に引きながら取り出します。

*1日10時間使用の場合の目安。

お手入れする

加湿フィルターの交換方法



手順3 加湿フィルターの真ん中にあるバーを引っ張り、加湿フィルター一式を取り出します。

手順4 加湿フィルターカバーを取り外します。使い終わった加湿フィルターのタブを引っ張り、上方向に取り外します。
※インナーフレームは捨てないでください。
タブが上方向になるように新しい加湿フィルターをインナーフレームに取り付けます。

手順5 加湿フィルターカバーをバーのくぼみに合うように加湿フィルターとインナーフレームに取り付け、ダストフィルターが取り付けられたプレフィルターに戻します。

手順6 フィルター一式をハンドルが手前になるように本体に戻し、前面パネルを再度取り付けます。

手順7 加湿フィルター交換お知らせランプを約5秒間長押しするか、Blueairアプリで加湿フィルターの使用残をリセットします。

※フィルター一式をスライドさせるときには、ゆっくりと引き出してください。

お手入れする

ウォーターリフレッシャーの交換方法

活性炭層を採用したカートリッジです。水のにごりを抑え、タンク内の水をよりクリアな状態に保ちます。装着後、設定をオンに切替えてください。

最適な性能を維持するため、約3～6か月ごとの交換*をお勧めします。
使用環境や使用する水質によって交換時期は前後する場合があります。



手順1



手順2



手順3



手順4

手順1 前面パネルを外した後、タンクを引き出し、タンク内のポンプユニットを取り出します。ポンプユニットからは水が垂れるので、あらかじめトレイのようなところに避難できることを準備することをお勧めします。

手順2 ポンプユニットの下側にセットされているウォーターリフレッシャーを、図のように取り外します。

手順3 新しいウォーターリフレッシャーをポンプユニットにセットします。

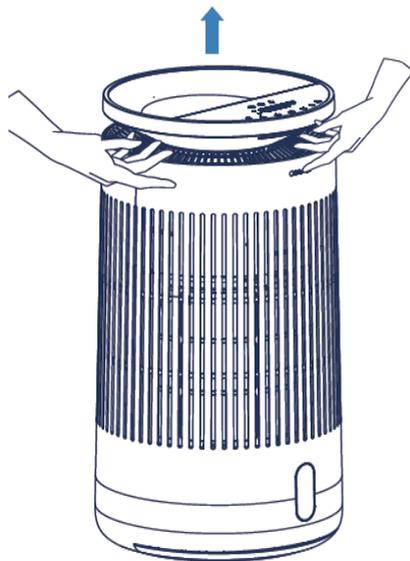
手順4 本体の給水ランプを約5秒間長押しするか、Blueairアプリでリセットします。
※給水ランプが青く点灯したらウォーターリフレッシャーの交換時期です。

*1日5L使用の場合の目安。

本体を移動する

重要：本体を移動させる前に、必ず電源をスタンバイモードにし電源プラグをコンセントから抜き、タンク内の水を捨ててください。

- 移動させる前に、本体前面のパネルが完全に閉まっていることを確認してください。
- 持ち運びの際は、本体上部を持って持ち上げると安全に運べます。



困ったときは

このようなときは	考えられる原因	次をお試ください
本体の音が大きすぎる	高速設定にすると、より速く稼働するために運転音が大きくなります。 ダストフィルターが汚れて目詰まりしていると、十分な空気の流れが得られず騒音が大きくなる可能性があります。	・運転スピード (ファンの回転数) を下げると静かになります。 ・本体の電源を切り、背面の吸込口を掃除機でやさしく吸い取ってください。 ・ダストフィルター交換サインが赤色になったらダストフィルターを交換してください。
本体をアプリに接続できない	ペアリング中、本体がスマートフォンやルーターから遠すぎる可能性があります。	1. ペアリングするとき、お使いのスマートフォン、本体、Wi-Fi ルーターが同じ部屋にあり、4.5m 以内にあることを確認してください。 ペアリングが完了したら、本体を希望の場所に設置できます。 2. 本体の電源プラグがコンセントに差し込まれ、電源が入っていることを確認してください。
	Blueair アプリが最新ではない可能性があります。	アプリストアから最新のBlueairアプリをダウンロードしてください。
	ルーターの電源が入っていないか、接続されていない可能性があります。 ルーターが通常の接続状態ではない可能性があります。	以下の点を確認してから、本体との接続を再度お試しください。 1. インターネットが現在稼働していますか 2. 2.4GHz ネットワークを使用していますか 3. VPN は無効になっていますか
	Bluetooth が無効になっている可能性があります。	スマートフォンの設定で Bluetooth が有効になっていることを確認してください。
本体の接続が切れた	一時的なWi-Fi の通信障害が発生した可能性があります。 Wi-Fi またはルーターの設定が変更になった可能性があります。	数分経っても自動的に再接続されない場合は、以下をお試しください。 1. Blueair アプリを開きます。 2. お使いの商品を選択し、「本体を設定する」をタップします。 3. 「本体を削除する」をタップします。 4. ホーム画面に戻り、「本体を接続する」をタップします。 本体の接続手順に従い再度接続してください。

困ったときは

このようなときは	考えられる原因	次をお試しください
ミストが見えない	本商品は気化式を採用しており、ミストが出ないタイプです。 目に見える蒸気は発生しませんが、衛生面に配慮した安全設計の気化式加湿空気清浄機です。	—
加湿機能が動作しない	タンクの水が空になっている。	・タンクに水を補充してください。 ・設定温度を上げてください。
	設定した湿度に達している。	本体のディスプレイまたはアプリで、設定した湿度に達しているか確認してください。
電源オフ後に再び作動する	タンクが空になると、自動でオートドライモードに入り、本体内部を清潔に保ちます。	Blueair アプリまたは電源ボタンで終了してください。
本体または加湿フィルターが変色している、目に見える残留物がある	本商品は水道水で安心してお使いいただけます。水中の不純物はフィルターで捕集されるため、目に見える残留物は正常であり、正しく作動している証拠です。	16ページ以降を参照し、お手入れしてください。 ウォーターリフレッシャーを交換してください。
部屋の湿度が変わらない	設定した湿度に達している。	本体操作パネルまたはBlueair アプリで、設定湿度を上げてください。
	窓が開いているなどの外的要因が影響しているか、部屋が推奨面積より広すぎる可能性があります。	窓や扉を閉め、推奨面積以内の場所に設置してください。

その他の問題が起きた場合は、www.blueair.jp/support をご確認いただくか、ブルーエアサービスセンターへお問い合わせください。

主な仕様

主な仕様

2-in-1 Pro 加湿空気清浄機 DH5i

品番	113826
モデル番号	6541511000
電源	100 V AC 50/60Hz
CADR値に基づく推奨フロア面積 ¹ (空気清浄運転時)	約 36 m ² (約22畳)
CADR タバコ煙/ホコリ/花粉 ¹ (空気清浄運転時)	252 / 276 / 310 cfm
最大消費電力 (加湿空気清浄運転時)	60 W
運転音 (加湿空気清浄運転時)	20-56 dB(A)
外形寸法	直径 約317 x 高さ 約625 mm
本体質量	約 8.4kg
タンク容量	約 5 L
加湿方式	気化式
フィルター・付属品交換目安	ダストフィルター：最大約12カ月 ² 加湿フィルター：最大約12カ月 ³ ウォーターリフレッシャー：約3~6カ月 ⁴

¹:ANSI/AHAM AC-1に基づく。

²:1日24時間使用の場合の目安。

³:1日10時間使用の場合の目安。

⁴:1日5L使用の場合の目安。

* 製品の仕様およびデザインは改善等のため予告なく変更することがあります。

本体の廃棄、アフターサービス、保証について

本体を廃棄するときは

本商品を廃棄する場合は分解せず、自治体の指示に従い決められた方法で廃棄してください。

アフターサービスについて

困ったときや、消耗品をお求めの際は、www.blueair.jp をご確認くださいか、ブルーエアサービスセンターへお問い合わせください。

保証について

本書に記載された内容に従わず使用して故障した場合は、保証の対象外となりますのでご注意ください。

返品のご相談

商品の返品につきましては、お買い上げいただいた店舗へご相談ください。

お客様相談窓口のご案内

ブルーエアサービスセンター

0120-974-419 平日9:30～17:30(土日・祝日・年末年始除く)

携帯電話からもご利用いただけます。

発売元:セールス・オンデマンド株式会社

住所:東京都品川区上大崎二丁目15番19号 MG目黒駅前ビル 713





0114017000

 ***Blueair***